

2020年度（第10事業年度）

事業報告及び附属明細書

自 2020年 4月 1日

至 2021年 3月31日

公益財団法人 日本女性学習財団

I. 公益目的事業

生涯学習の振興及び活性化支援事業

2020年度は、本財団の目的である「男女共同参画社会の形成に資する生涯学習及び次世代育成の振興に寄与する」事業の円滑なる進展を図るため、国内外の動向を踏まえた最新の情報提供に努めるとともに、事業領域・内容の工夫、広報活動の強化、関係機関・団体との協力連携を通し、当面する諸課題について各学習事業、管理運営、その他の事務を遂行した。

特に、今年度は財団 80 周年を見据えて事業を展開し、財団中期ビジョンに沿って、財団の目的を継続的に果たすことができるよう努めた。加えて、コロナ禍でオンライン等を活用した事業を行い、財団ネットワークの基盤を強化した。

1. 研究調査

(1) 防災・減災に関する研究調査

趣旨：男女共同参画と災害・復興ネットワーク（JWNDRR 代表：堂本暁子）と連携して事業を行うと共に、HP 等で防災・減災とジェンダーに関する情報を発信する。

内容：①財団 HP の「防災・減災とジェンダー」を更新した。

②月刊『We learn』2021 年 1 月号で「災害経験から学ぶ・残す・つなぐ」を特集テーマとした。

③スペース We learn に防災・減災とジェンダーに関する財団所蔵資料を配架、データベースを更新し HP で公開した。

④JWNDRR 主催 勉強会「尾竹永子が語る災害とアート -東日本大震災からコロナ禍まで-」を共催（8 月 7 日～30 日：オンライン開催 計 615 回視聴）

⑤JWNDRR 主催 NVEC 男女共同参画推進フォーラム Zoom ワークショップ「ジェンダーと新型コロナウイルス災害」を共催（8 月 28 日：オンライン開催、9 月 26 日まで動画公開 計 498 回視聴）

⑥JWNDRR 主催 CSW65 NGO パラレルイベント「Feminist Decision-making for Risk Governance and Resilience Building」を共催（2021 年 3 月 20 日：オンライン開催）

(2) 女性の教育・学習活動史研究

趣旨：「出発・再出発」をテーマに、男女共同参画社会、多様な人々が生きやすい社会の実現に向けて、次への一步を踏みだしたい／踏みだした人（踏みだす人を支援する人・グループも可）の思いや過程などをまとめたレポートを募集し、「日本女性学習財団 未来大賞」として優秀作品を表彰する。

選考委員：村松泰子（委員長）、高井正、服部篤子、藤井俊一

内容：①選考委員会

日時：11 月 6 日 応募 42 篇の中から大賞 1 篇を選考

第 4 回 日本女性学習財団 未来大賞

受賞レポート「まさに未来の種をまくー10 年のカフェ運営から学びと老年期への船出ー」新井純子（埼玉県）

②贈呈式

2021 年 1 月 30 日（オンラインとリアルのハイブリッド形式で開催）

*月刊『We learn』2021 年 3 月号に大賞レポートを全文掲載した。

★なお、新型コロナウイルス感染拡大のため延期となった第3回未来大賞贈呈式は9月5日にオンラインとリアルのハイブリッド形式で開催した。

2. 人財育成事業

(1) キャリア人財プラットフォーム事業

趣旨：女性のエンパワーメントを目指し、生涯にわたるキャリアデザインを男女共同参画の視点で支援する方を「キャリア支援デザイナー」として登録するための養成講座を実施する。また、「キャリア人財プラットフォーム」を基盤として、この核となる「キャリア支援デザイナー」の交流と活動を支援する。

内容：① (公財)日本女性学習財団キャリア支援デザイナー 第8期養成講座

日時：5月15日～6月1日(動画配信期間)

講師：亀田 温子、村松 泰子

登録者：9人

実施方法：オンライン(YouTubeによる動画配信)

*登録証授与式はオンライン(Zoom)で7月11日に開催した。

② (公財)日本女性学習財団キャリア支援デザイナー更新講座 第6期

日時：12月13日

講師：倉持 伸江、村松 泰子

実施方法：オンライン(YouTubeによる動画配信とZoom)

*5期更新者：18人

(1～8期 登録デザイナー 110人：2021年3月31日現在)

③ デザイナーブラッシュアップ講座

日時：12月10日

参加者：51人

テーマ：「女性の再出発とキャリア形成～再出発に必要な支援とは」

講師：中村香

長岩佳子(「第3回日本女性学習財団 未来大賞」受賞者)

実施方法：オンライン(Zoom)

④ デザイナー企画協働事業

応募企画 4件、採用企画 3件(うち1件は2021年5月実施予定)

日時：10月24日(前年度採択分)

参加者：7人

テーマ：「働き方を見つめ直す 価値観探求ワークショップ」

企画：垣内 啓江(第2期)

講師：垣内 啓江

協働先：(株)ケイ・シー・ブライトン

実施方法：オンライン(Zoom)

日時：2021年1月24日（今年度採択分）
参加者：9人
テーマ：「ワーキングマザーのキャリア継続支援～子育てとの両立」
企画：君野 和美（第8期）
講師：君野 和美
協働先：Position Design
実施方法：オンライン（Zoom）

日時：2021年2月6日（前年度採択分）
参加者：28人
テーマ：「キャリアコンサルタントとして仕事をしよう！ー資格取得後の
経験ゼロからのリアルー」
企画：星野 やすえ（第5期）
講師：星野 やすえ
協働先：星野 やすえ
実施方法：オンライン（Zoom）

日時：2021年2月27日（今年度採択分）
参加者：20人
テーマ：「テレワークのその先へ！ 分身ロボット OriHime で創造する、
私たちの生き方・働き方」
企画：大橋 志帆（第2期）
講師：大橋 志帆
協働先：おおたテレワーク推進協議会
実施方法：オンライン（Zoom）

⑤ デザイナー企画講師派遣事業

日時：12月3日（前年度採択分）
参加者：18人
テーマ：「地域を創り、『私』を生きる一女性の学びとは」
企画：森崎三記子（第7期）
講師：亀田温子
会場：オンライン&釧路市男女平等参画センター（北海道釧路市）
主催：釧路市男女平等参画センター
共催：北海道女性起業家支援ネットワーク、じもじょき釧路市
後援：釧路市、北海道中小企業家同友会くしろ事務所
実施方法：オンライン（Zoom）&釧路会場

⑥ デザイナー交流会

デザイナーフォーラム内で開催

⑦（公財）日本女性学習財団設立80周年記念キャリア支援デザイナーフォーラム

日時：2021年3月7日

参加者：延べ169人

内容：**シンポジウム** キャリアの壁を越える“学び”・“つながり”
～「日本女性学習財団 未来大賞」受賞レポートを事例に～

〔事例報告者〕・菊池悦子（第1回未来大賞受賞者）

・NPO法人ハイヒール・フラミンゴ（第2回未来大賞
受賞グループ）代表 野間麻子

・長岩佳子（第3回未来大賞受賞者）

・新井純子（第4回未来大賞受賞者）

〔コメンテーター〕高井正・服部篤子

〔コーディネーター〕村松泰子

トークセッション 変容する社会における、持続可能なキャリアの
築き方

〔講師〕野村浩子・萩原なつ子

交流会

実施方法：オンライン（Zoom）

*月刊『We learn』2021年4月号に、特集記事掲載

（2）子育て支援者養成講座

趣旨：子育て支援に携わる人を対象に、ジェンダー視点をもった支援を軸とした支援者養成講座を開催する。

日時：2021年3月19日

参加者：115人

テーマ：「ともに考えよう。男の子の子育て～性差別・性暴力のない社会に向けて」

講師：太田啓子、片田 孫 朝日

コーディネーター：木山 直子

実施方法：オンライン（Zoom）

*月刊『We learn』2021年5月号に、特集記事掲載

3. 情報提供

（1）月刊『We learn』発行

趣旨：男女共同参画の普及啓発のための専門情報誌として女性の生涯学習及び次世代育成の全国的・国際的な課題を明らかにし、研究及び実践事例に関する情報を収集・提供する。第4回世界女性会議（北京会議）実施から25年にあたる今年度は、世界中の女兒・女性の地位の向上とエンパワーメントを進め、また男性たちが平等な社会の実現に向けて参画していくことに向けた情報提供を行う。なお、2020年9月号は、創刊800号記念号として発刊した。

① 総発行部数 13,200部 （1,200部/月、年11回発行）

② 販売部数 5,098部 贈呈・交換部数 3,542

③ 特集テーマ

4月号「生涯にわたる学びとキャリア形成」
 5月号「女性たちの生きづらさから考える」
 6月号「ワークとライフのこれから」
 7月号「スポーツを通して社会を見る／変える」
 8月号「リタイア×女性一生き方・働き方」
 9月号「<800号記念特集>伝える・つなぐー北京+25の先へ」
 10月号「ともに生きることー多様性社会を考える」
 11・12月号「見えない・見えにくい暴力と闘う」
 1月号「災害経験から学ぶ・残す・つなぐ」
 2月号「コロナ危機が問うもの」
 3月号「出発・再出発ー過去の学びを未来の糧に」

(2) パネル等普及啓発資料の作成・普及

趣旨：イラストを通して男女共同参画にまつわるさまざまな問題を提示する「なるほどジェンダー」、「発見！ジェンダー」パネルを貸出・販売する。また、新型コロナウイルス感染症対策で休校や施設の閉鎖などの影響を受けている教育関係機関、女性関連施設などに対し、教材として利用していただけるように、パネル「発見！ジェンダー」のデータを<学び応援特別キャンペーン>として無償で提供した。

① パネルの貸出

貸出件数：9件

発見！ジェンダー 貸出先 6件	茨城県国立研究開発法人 森林研究・整備機構森林総合研究所、埼玉県越谷市男女共同参画支援センター「ほっと越谷」、東京都武蔵村山市立緑が丘ふれあいセンター、佐賀県多久市男女共同参画係、福井県鯖江市、聖心女子大学キャリアセンター
なるほどジェンダー 貸出先 3件	岐阜県東海学院大学健康福祉学部総合福祉学科、山形県酒田市、沖縄県嘉手納町

販売件数：1件

発見！ジェンダー 販売先	長崎県県民生活部 男女共同参画推進センター きらりあ
-----------------	----------------------------

② 発見！ジェンダー パネルデータの無償提供

提供件数：6件

提供先	早稲田大学・明治大学、東海学院大学、園田学園女子大学、愛知県小牧市役所、三重県鈴鹿市、神奈川県相模原市立男女共同参画センター
-----	--

(3) 資料の整備・情報公開

① ホームページによる情報提供

当財団の事業については、適宜事業案内・報告を財団ホームページに掲載し、その内容を公開した。また、フェイスブックを用いて、タイムリーな情報提供に努めた。

ホームページアクセス数：2020年度 69,865件(前年度 87,375件)

②ぶっく・とーくの開催

第18回 日時：7月29日（前年度実施予定分）

『呪いの言葉の解きかた』

話し手：上西充子

参加者：64人

実施方法：オンライン（Zoom）

4. 関係諸団体との連携支援

女子会館内団体との情報交換を行った他、国際婦人年連絡会・全国女性会館協議会・社会教育団体振興協議会、男女共同参画と災害・復興ネットワーク等に加え・連携して、全国的・国際的な活動に参画・参加するとともに、全国各地からの要望に応じて連携・支援を行った。

(1) 他団体との連携・支援事業

① 講座等の開催

- a. 8月7日～30日 JWNDRR 勉強会「尾竹永子が語る災害とアート -東日本大震災からコロナ禍まで-」＜前掲＞（主催：男女共同参画と災害・復興ネットワーク、共催：（公財）日本女性学習財団、主婦連合会、（一社）主婦会館）
- b. 8月28日 NVEC 男女共同参画推進フォーラム Zoom ワークショップ「ジェンダーと新型コロナウイルス災害」＜前掲＞（主催：男女共同参画と災害・復興ネットワーク、共催：（公財）日本女性学習財団）
- c. 12月2日「人生を切り拓くライフプランニング教育」ライフプランニング講座 A ＜文部科学省 令和2年度「次世代のライフプランニング教育推進事業」＞（主催：聖心女子大学、共催：（公財）日本女性学習財団、静岡大学、早稲田大学）
- d. 2021年1月16日豊島区「発見！ジェンダー 自分らしく生きるヒントを探ろう」（主催：豊島区、共催：（公財）日本女性学習財団）
- e. 2021年3月20日 CSW65 NGO パラレルイベント「Feminist Decision-making for Risk Governance and Resilience Building」＜前掲＞（主催：男女共同参画と災害・復興ネットワーク、共催：（公財）日本女性学習財団、ケアインターナショナルジャパン）

② 関連団体の会議への参加

- a. NPO 法人全国女性会館協議会：総会・理事会・常任理事会出席（学習事業課長）、全国大会出席（オンライン開催：理事長・学習事業課全員）
- b. 国際婦人年連絡会：総会、全体会、常任委員会、2020 NGO 日本大会実行委員会 他出席（学習事業課長）、2020 NGO 全国大会出席（オンライン・リアル開催：理事長、学習事業課全員）
- c. 社会教育団体振興協議会：総会、幹事会 他（常務理事）
- d. 男女共同参画と災害・復興ネットワーク：ワーキンググループ（理事長）

③ 団体、自治体、大学への職員等派遣

- ・令和2年度 文部科学省委託「男女共同参画推進のための学び・キャリア形成支

- 援事業」における研究協議会検討委員（オンライン開催：学習事業課長）
- ・9月下旬発行 小金井市男女共同参画情報誌「かたらい 52号」への寄稿（理事長）
 - ・11月12日 流山市「私へのごほうび講座 2020」（学習事業課長補佐・係長）
 - ・12月2日「人生を切り拓くライフプランニング教育」ライフプランニング講座 A
 <文部科学省 令和2年度「次世代のライフプランニング教育推進事業」>
 （主催：聖心女子大学、共催：（公財）日本女性学習財団、静岡大学、早稲田大学）
 （オンライン開催：学習事業課全員）
 - ・2021年1月16日豊島区「発見！ジェンダー 自分らしく生きるヒントを探ろう」
 （オンライン開催、学習事業課長・課長補佐）

（2）生涯学習等公益事業を行う非営利団体に活動拠点を提供し支援する事業

生涯学習や男女共同参画社会の発展のため活動している団体支援事業として日本女子会館の施設（事務室・会議室）を低料金で賃貸している。日本女子会館の公益目的賃貸面積は187.90坪、公益目的に使用している床面積の割合は33.38%。

対象団体と面積は下表のとおりである。 (2021年4月1日現在)

	テナント名	階	坪
1	公益社団法人 長寿社会文化協会	1階	45.85
2	特定非営利活動法人 全国女性会館協議会	1階	6.23
3	公益財団法人 さわやか福祉財団	7階	126.04
4	一般社団法人 国際女性教育振興会	8階	9.78
合計			187.90

（3）シェアオフィス・バーチャルオフィス運営「オフィス We learn」

趣旨：女性が起業するにあたって、活動拠点となるオフィスの確保が障壁の一つとなっており、女性専用シェアオフィス・バーチャルオフィスを設置することで女性の自立を支援する。

対象：起業を目指す女性、都心に事務所を必要としている女性起業家等、働く女性及び女性が代表を務める法人

会員種別：正会員、法人会員、デイリー会員、イブニング会員、バーチャル会員

定員：30人

現在会員数：法人会員；3団体、デイリー会員；12名、イブニング会員；2名
 バーチャル会員；2名

（デイリー会員12名のうち3名はキャリア支援デザイナー）

*法人会員のうち2団体に対する個室使用許諾の契約は継続中。

II. 収益事業

2020年度の収益事業会計の経常収益は132,204,457円、経常費用は63,111,396円であり、経常増減額(税引前)は69,093,061円となる。

全会計の経常収益は165,082,836円、経常費用は154,638,251円、であり、経常増減額(税引前)は10,444,585円となり、前年度の経常増減額17,008,729円と比較し6,564,144円の減少となる。法人税は5,453,700円で、当期一般正味財産増減額は4,990,885円となる。

なお、経常費用総額のうち公益目的事業会計の占める割合は54.51%で、50%を超えているため公益財団法人としての基準を満たしている。

1. 日本女子会館建物の賃貸事業

(1) 入退居テナント状況

2020年度は3件のテナント退去があったが、2件については年度内に既存テナントの増床契約を締結した。残りの1室は、2021年5月に入居が決定しており、以降満室となる。

(2) 契約更新・再契約状況

既存テナント2件に対する賃料値上げに関する訴訟は、2020年度内に和解合意することができ、この結果、公益目的賃貸を除く全テナントに対して、当初計画の値上げを完了したこととなる。

2. 日本女子会館の維持経営

(1) 日本女子会館建物の維持管理

これまでどおり建物の老朽化に対して計画的に修繕、更新を進めている。2020年度は第1期大規模改修工事として、外壁塗装、屋上床防水、高架水槽及び配管更新等を行った。次年度は、第2期工事としてトイレ、給湯室の全面改装、第3期工事として5階フロアの全面改装を計画している。

2020年度も老朽化に起因する不具合に適宜修繕を行った。日常点検を怠ることなく、人的に被害をもたらす恐れのあるものについては可及的速やかに修理、更新を行っている。

2020年度の主な修繕工事は、各所煙感知器更新、各所非常照明器具更新、地階揚水ポンプ系統ブレーカー更新、貸室ブラインド更新、貸室天井照明器具更新、及び大規模改修工事のうち費用に計上される部分を併せると、合計2,142万円の修繕工事費を計上した。

建物附属設備の更新(資産取得)として、汚水ポンプ1台更新、及び第1期大規模改修工事として建物設備更新積立資金から約73,118,186円の取り崩しを行った。

(2) (新)日本女子会館ビル調査検討のためのワーキンググループ

2020年度は、新型コロナウイルス禍の影響を受けて委員会を開催していない。

Ⅲ. 管理部門

1. 賛助会員

2020 年度末における会員状況は、以下のとおり。

個人会員数：38 名（45 口） 法人会員数：1 件（1 口）

2021 年度についても順調に更新、入会の申込を受け付けている。

2. 理事会

開催日/場所	議題・報告事項	審議結果
2020 年 6 月 11 日 決議の省略	議題 (1) 2019 年度事業報告書(案)について (2) 2019 年度決算書(案)について (3) 2020 年度定時評議員会の日程及び議案について (4) 任期満了に伴う次期理事候補者を評議員会に提案することについて 報告事項 (1) (新)日本女子会館ビル調査検討のためのワーキンググループについて (2) 理事長、常務理事の職務の執行の状況について	承認 承認 承認 承認 了承 了承
2020 年 6 月 26 日 決議の省略	業務執行理事より提案 (1) 代表理事を村松泰子とする	全員同意
2020 年 10 月 19 日 決議の省略	議題 (1) 2020 年度上半期事業進捗報告書について 報告事項 (1) 理事長、常務理事の職務の執行の状況について	承認 了承
2021 年 3 月 22 日 リモート開催	議題 (1) 2021 年度 事業計画(案)について (2) 2021 年度 収支予算書(案)について (3) 重要な使用人の選任について 報告事項 (1) 2020 年度 下半期の事業進捗について (2) 理事長、常務理事の職務の執行の状況について	可決承認 可決承認 可決承認 了承 了承

2. 評議員会

開催日/場所	議 題	審議結果
2020年6月26日 決議の省略	議題 (1) 2019年度事業報告書の承認について (2) 2019年度決算書の承認について (3) 任期満了につき理事の改選について (4) 評議員長の選任について 報告事項 (1) 2020年度事業計画について (2) 2020年度収支予算書について (3) 2019年度(新)日本女子会館ビル調査検討のための ワーキンググループの審議概要について	承認 承認 承認 承認 了承 了承 了承 了承

事業報告の附属明細書

2020年度事業報告には、「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、定款第11条(2)に規定する事業報告の附属明細書は作成しない。